

6月定例議会

行政報告 (2)

産業部関係

■農林課

稲作は、3月の低温、4月の不順な天候により雪解けが進まず、春作業が4日、5日前後の遅れで推移し、田植え作業も、平年より1週間前後の遅れで最盛期となりました。今後は生育の遅れが心配されるので、農業指導関係機関との連携を密にして、水管理の適正指導を啓発していきます。畑作は、山の芋・スイートコーンとも4月の低温・長雨の影響で2、3日の遅れですが、葉たばこの定植作業は平年並みで終了しています。

新規就農者の確保・育成事業は、昨年から2ヶ年の予定で1名が秋田県農業試験場にフロンティア農業者育成事業を活用して研修中です。

今年の牧場運営は、5月11日に40頭が鷹巣牧場、6月1日に29頭が高津森牧場に入牧しています。終牧まで事故のないよう両牧場とも草地の管理や周辺整備を進め、農家の利用促進も促しながら、安全で安心できる肉用牛生産に貢献できるよう努めます。

昨年のゲリラ豪雨農業災害復旧工事繰越分の3事業が、5月の農作業

前に完成し、災害認定箇所すべて完了しました。

土地改良事業関係は、県営農村整備事業による事業実施が5地区、調査事業が2地区で始まり、農村基盤の再整備事業をさらに推進します。

有害鳥獣駆除は、5月6日に綴子字岩谷地区で熊による被害があり、1頭を捕獲しています。これから熊の出没時期になることから、振興局警察、猟友会との連絡を密にし、市民の安心・安全を図ります。

■商工観光課

緊急雇用創出臨時対策基金事業関係は、15事業・36人を雇用しています。ふるさと雇用再生臨時対策基金事業は、3事業で、18人を雇用しています。

中心市街地活性化対策は、3店舗を事業認定して空き店舗対策に取り組んでいます。

企業誘致関係は、新東北メタル株式会社増設により14人の雇用を予定しています。また、大野台工業団地のティディエス株式会社では増設により15人の雇用を予定しています。市の農林水産物や加工品・特産品等を販売・PRする「アンテナショップ

消防本部関係

■常備消防

本年1月から4月末までの火災の発生は、建物火災7件、その他火災1件です。建物火災では4棟が全焼し、火災による死者1人、傷者1人です。

救急出動は502件で、内訳は急病344件、一般負傷60件、転院搬送36件、交通事故39件、その他23件です。救助出動は、24件です。

東日本大震災に対して、秋田県緊急消防援助隊としての岩手県への出動要請を受けて、消防職員を宮古市へ延べ21人の派遣を行いました。

4月には、宮城県へ出動要請があり、17日から7人を登米市に派遣し、同市を拠点にして気仙沼市などで活動を行いました。



▲緊急消防隊として被災地へ向かう、消防職員の出動式

住宅用火災警報器の設置推進事業は、今年2月末までに5777世帯の調査を終え、設置済み世帯は2830世帯です。老人クラブなど諸団体に協力呼びかけを重ねるなど、6月1日からの設置義務化について、周知に努めています。

■非常備消防

市民の安全安心に資するための消防機動力の充実は、3月に阿仁第5分団に小型動力ポンプ付き積載車が購入配置され、併せて同器具置き場の改築工事が完了しました。

春の火災予防運動は、各地区で機械器具の点検等を実施し、火災予防巡回とともに住宅用火災警報器の設置推進チラシの配布をしています。

教育委員会関係

■総務課

合川学童研修センターで実施している県委託事業「あきたリフレッシュ学園」は、県からの要望で平成23年度も継続することとなり、現在3人の園生が生活しています。この後の入園予定者もいますので、県と連携を図りながら事業を推進します。

今年度の学校関係工事は、昨年度阿仁中学校体育館完成による旧体育館の解体工事、森吉中学校校舎屋根改修工事、米内沢小学校校舎改築工事等、計画どおり進めています。

「プ」を設けるため、東京都板橋区ハッピーロード大山商店振興組合が開設する全国ふる里ふれあいショップ「これたて村」への出店説明会を5月12日・13日に渡って市内4ヶ所で開催しました。

観光振興は、「森吉山山開き」の森吉側が5月3日、阿仁側が6月5日、「竜ヶ森山開き」が6月1日に行なわれ今年1年の無事故と安全登山を祈願しました。

「太平湖湖水開き」が6月1日に行われ、太平湖と小又峽を結ぶ遊覧船の運航が始まり、県内外から訪れた観光客は新緑に囲まれた湖の景色を満喫しています。



▲6月から10月末まで太平湖と小又峽を結ぶ遊覧船の運航が始まる

6月5日、ふるさと踊りと餅つきまつりが開催され、盛りだくさんの催しものたくさんの方が訪れてにぎわいました。

合川地区小学校統合に係る今年度の準備作業として、合川西小学校及び合川南小学校の廃校、そして両校統合等を順次進めています。

■学校教育課

今年度の入学（園）児童生徒数は幼稚園5人、小学校228人、中学校292人です。5月1日現在の児童生徒数は幼稚園11人、小学校1467人、中学校885人で、小学校が104学級、中学校が37学級です。

4月23・24日に、中学校大北春季総合体育大会が行われ、野球とバレーボール女子で鷹巣南中、バレーボール男子は鷹巣中、ソフトテニス男子団体で森吉中、剣道男子・女子で合川中が優勝を飾ったほか、柔道個人でも各階級で上位を独占するなど、市内の中学生の活躍が光りました。

■生涯学習課

市内各地区の高齢者大学で「入学・開講式」が開催され、高鷹大学246人、合川ことぶき大学63人、森吉大学91人、阿仁生き生き大学53人が、講座のみならず人とふれあうことで、心身ともに元気になることができる大学生活をスタートしました。

4月17日、伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進事業の一環として、サケの稚魚を放流し、ふるさとの川に帰るサケのために環境保護の意識高揚を図り、併せて世界遺産登録に向け

建設部関係

■都市計画課

住宅リフォーム緊急支援事業は、5月末現在で補助金交付決定数109件、交付決定額1536万8千円です。

5月末の市営住宅等の入居状況は、管理戸数599戸に対して、入居戸数552戸、入居率92・2%です。

■建設課

道路改良工事1件、排水維持工事1件、舗装維持工事2件、交通安全施設工事2件、河川維持工事2件を発注しています。

地域活性化交付金事業は、除雪ドーザー3台、排水維持工事3件、河川維持工事1件、測量設計業務委託2件を発注しています。

■上下水道課

上水道事業は、鷹巣浄水場の監視制御装置点検業務委託1件を発注しています。簡易水道事業は、前田地区の水道管移設工事が完成しています。増沢地区配水管布設工事、桂瀬ポンプ場送水ポンプ取替工事の2件、綴子地区簡易水道配水池増設工事実施設計業務委託1件を発注しています。

公共下水道事業は、鷹巣処理区の坊沢字下野上野及び綴子字胡桃桃館、脇神字平崎上岱・赤川岱、阿仁合処理区の阿仁荒瀬地区のそれぞれ各一部を供用開始しています。

伊勢堂岱遺跡周辺の環境保存を推進することを目的とした「カムバック・サーモン」を実施しました。



▲湯車川で行われたサケの稚魚放流「カムバック・サーモン」

また、国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」の一般公開が5月1日から10月30日までの日程で始まりまし

■スポーツ振興課

4月16日、第49回河田杯マラソン。大館北秋田ロードレースが、開催され、当日はあいにくの雨天となり、気温も上がらず寒い天候でしたが、市内外から173人の小学生から一般までが参加し、家族らの応援を受け、健脚を競い合いました。

指定管理者制度を導入している北秋田市市民プールの平成22年度の利用者は、プール、トレーニングルーム合わせて4万3034人でした。北秋田市営業師山スキー場の利用者は1万4922人でした。